

事務連絡
平成 29 年 4 月 6 日

都道府県薬剤師会事務局 御中

日本薬剤師会
事務局 業務部 広報課

「かかりつけ薬剤師・薬局」をテーマとした 読売新聞記事広告に関する調査結果について

平素より本会会務に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、かかりつけ薬剤師・薬局の職能や生活者にとってのメリットについて伝える継続的な国民向けPRの一環として、平成 29 年 3 月中に 3 回、読売新聞全国版に PR 記事を掲載しました。

このたび、読売新聞社が広告掲載に関する定量・定性調査を実施し、その結果を受領しましたのでご報告致します。調査では、3 回の掲載のうち 2 回分に関して読者の高い認知度（接触率）を達成するなど良い結果が得られ、読売新聞広告局のホームページ「広告事例プレミアム」の企画ギャラリーに掲載されました。

調査結果の詳細については、次ページ以降でご紹介致します。

記

読売新聞広告局のホームページに掲載されました

【3 月 18 日掲載分】

<http://adv.yomiuri.co.jp/ad-premium/kikaku/k20170318jpa.html>

【3 月 25 日掲載分】

<http://adv.yomiuri.co.jp/ad-premium/kikaku/k20170325jpa.html>

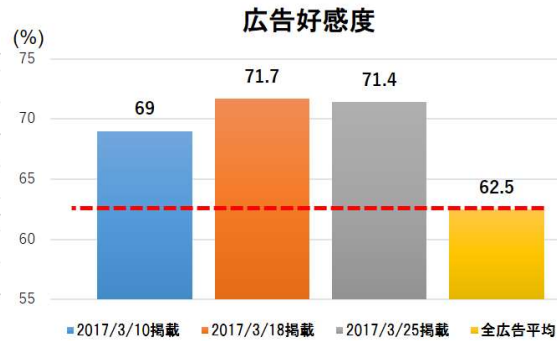
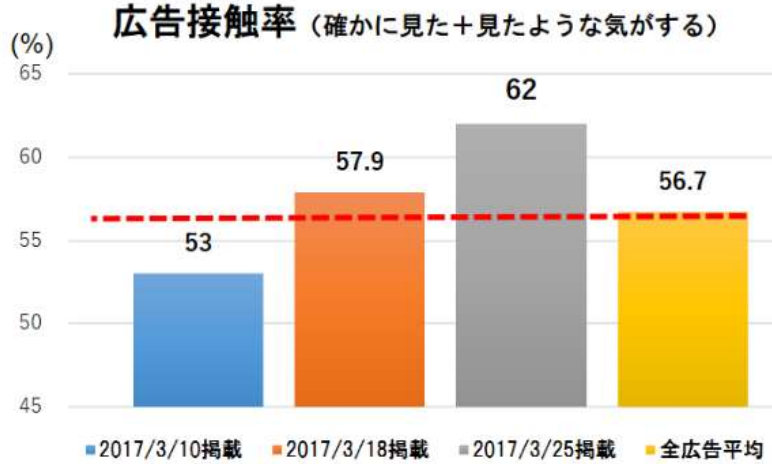
読売新聞全国版（朝刊）への掲載日

第 1 回	3 月 10 日（金）	テーマ：決めよう！いつもの薬局
第 2 回	3 月 18 日（土）	テーマ：探そう！かかりつけ薬剤師
第 3 回	3 月 25 日（土）	テーマ：活用しよう！かかりつけ薬剤師

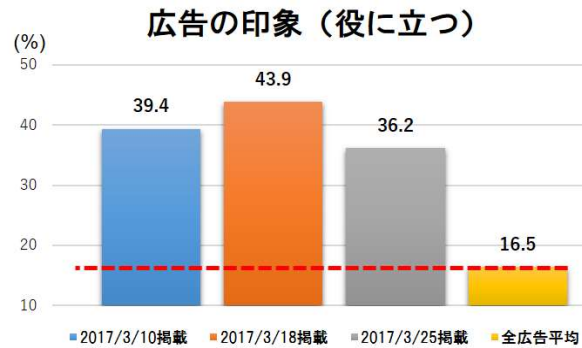
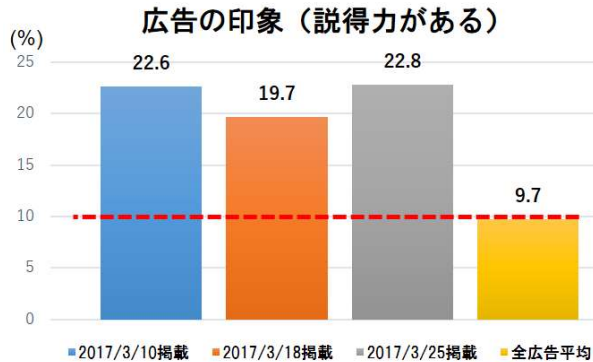
以上

広告調査結果

新聞広告共通調査プラットフォーム J-MONITOR による定量的な調査では、回を重ねるごとに認知度（接触率）が高まり、累積効果が認められた。第2回目、第3回目の接触率は、同じ記事面積で出稿された広告の平均を上回り、読売新聞の広告好事例に選出された。



※ 広告理解度、興味度、好感度、信頼度の指標のうち、全広告平均を大きく上回った指標について紹介。



※ 目立つ、センスが良い、文章が読みやすい、文字の大きさがちょうどよい、共感できる、説得力がある、よい広告を出していると思う、自分たち向けの、役に立つ、個性的である、おもしろい、タイミングがよい、話題性がある、のうち全広告平均を大きく上回った指標について紹介。

記事広告に対する感想（一部抜粋）

フリーアンサーによる定性的な調査では、「ためになる広告だった」「かかりつけ薬剤師のことを初めて詳細に知った」といったコメントが多数得られた。かかりつけ薬剤師・薬局に関しては、その機能や生活者にとってのメリットを、継続してさまざまなメディアで伝える必要があることが明らかになった。

- かかりつけの薬剤師を持った方がいいなんて、今まで考えたこともなかったです。次の掲載が待ち遠しいです。(男性 50 代)
- 日本薬剤師会を初めて知ったが、もっとメディアにアピールしたらどうか。(男性 50 代)
- 新聞だけでなく、テレビでももっとお知らせしてほしい。(女性 60 代)
- 説得力のある役に立つ広告だと思う。一つだけ分からなかったことは「お薬手帳」と「かかりつけ薬局」の関係。お薬手帳があれば薬局が違って飲み合わせなどはチェックできるのではないかと？また「かかりつけ薬局」は結局、自宅の近くで探すことになると思うので、この考え方を推進するには薬局の偏在化を解消することが前提になる。(男性 60 代)
- とても良い広告です。いくつもの病院にかかっているお年寄りにこのことをもっと知ってもらいたいです。いつも同じ、頼れる薬剤師さんに薬の相談などできるといいのではないのでしょうか。もっと広めてほしいです。(女性 40 代)
- 良い広告を出していますね。小さいスペースに分かりやすく載っていて工夫されています。(男性 40 代)
- 薬にお世話になる年齢なので、とても良い広告だと思う。薬剤師さんの重要性が良くわかる広告だと思う。(男性 60 代)
- 薬の相談ができる、かかりつけ薬剤師を探す方法をインターネットで調べたいと思いました。次回のテーマも読みたいと思いました。(女性 29 歳以下)
- 真ん中の先生の絵があることにより、文章が頭に入りやすくて助かります。薬草ではないですが、背景が緑というのもいいですね。(女性 30 代)
- さほど長文でもなく、生活に役立つ情報だと思う。緑と若葉色の組み合わせも優しい感じで好感が持てる。(女性 50 代)
- この広告で、初めてかかりつけ薬剤師を知った。掲載面も適している広告だと思う。(男性 40 代)
- 文章が平易で、文章が長いものの、読みやすい。色合いも刺激的ではないものの、カラフルな感じで意外と目立つ。(男性 50 代)
- 薬剤師の活用方法がわかり、役に立つ広告で良い。もっと広報するべきである。(女性 30 代)
- 優しいイラストの広告で、わかりやすいと思いました。(女性 50 代)
- 落ち着いたグリーン系の色調は目を引く広告だと思いました。「かかりつけ薬剤師」という、今まであまりなじみのない表現があり、興味を持って読みました。(女性 60 代)

(参考) 掲載記事広告

広告 企画・制作 読売新聞社広告局

公益社団法人 日本薬剤師会

今回のテーマは「探そう! かかりつけ薬剤師」
3月18日に掲載予定です。

介 護の不安や心配ことも、薬剤師がお話を伺い、薬と健康に関する幅広い知識をもとに解決案を提案します。薬剤師はかつて「街の科学者」と呼ばれていましたが、今でもそれをしっかり受け継ぎ、進化しています。薬局は皆さんが思うより、もっと気軽に頼りになる存在、かもしれません!



複数の薬局に行くのではなく、いつでも気軽に相談できるかかりつけ薬局を一つ決めておく。これが皆さんの健康や生活を安心して、より良くする「コン」。

私たちはそう考えています。
※注意を要する飲み合わせ

皆 さんは、普段から何でも相談できる「かかりつけ薬局」をお持ちですか?

相談できて安心ね♡

かかりつけ薬剤師

vol.1

決めよう!!

いつもの薬局

公益社団法人 日本薬剤師会 〒160-8389 東京都新宿区四谷3-3-1 四谷安田ビル7F <http://www.nichiyaku.or.jp>

広告 企画・制作 読売新聞社広告局

公益社団法人 日本薬剤師会

今回のテーマは「活用しよう! かかりつけ薬剤師」
3月25日に掲載予定です。

薬 の使用に関する様々な心配ことも、普段から薬や健康のことを気軽に相談できる薬剤師がいれば安心です。かかりつけ薬剤師は、皆さんがこれまでに使用してきた薬のこと、現在お使いの薬や健康食品のことなどを把握して、薬による治療がより効果的なものになるようお手伝いします。

「かかりつけ薬剤師ってどうやって探すの?」と思ったら、例えば、薬が必要になつて薬局を訪ねたとき、対応してくれた薬剤師と顔見知りになつて色々質問してみるのもいいでしょう。また、薬の相談会などを行っている薬局があれば、積極的に参加して、かかりつけ薬剤師を探してみるのもひとつの方法です。ぜひ、一歩、行動を起こしてみてください。



皆 さんには、薬に関することを気軽に相談できるかかりつけの薬剤師がいますか? 複数の医療機関から色々な作用をもった薬が処方され、服用している場合、薬の飲み合わせに気をつける必要がありま。同じような薬が重なつて処方されたり、効き目が弱くなる薬同士が処方されていると、副作用のリスクが高まつたり、期待された効果があらわれなかつたりすることがあるからです。市販薬や健康食品等との飲み合わせにも、注意が必要なる場合があるのです。

相談できて安心ね♡

かかりつけ薬剤師

vol.2

探そう!!

かかりつけ薬剤師

公益社団法人 日本薬剤師会 〒160-8389 東京都新宿区四谷3-3-1 四谷安田ビル7F <http://www.nichiyaku.or.jp>

広告 企画・制作 読売新聞社広告局

公益社団法人 日本薬剤師会

今回のテーマは「活用しよう! かかりつけ薬剤師」
3月25日に掲載予定です。

処 方せんがなくても薬や健康のことで不安があれば、お住まいの近くにあるかかりつけ薬局にいらしてください。夜間や休日もサポートしていますので、ご相談ください。必要に応じて地域の医療機関など、さらに詳しく相談できる窓口を紹介します。

ぜひ、かかりつけの薬局を持ち、信頼できる薬剤師を決めて、ご利用ください。より安心して快適に暮らす方法を一緒に考えましょう。



皆 さんはかかりつけ薬剤師を活用していますか?

かかりつけ薬剤師は、薬の記録を長期にわたり管理し、薬を安心して使用するためのお手伝いのほか、皆さんの健康サポーターとして薬局以外の場所でも活動しています。

その一例として、在宅医療についてご紹介します。入院治療を受けた後は自宅に戻り、在宅で療養を継続する体制が、国の方針として推進されています。しかし、医療従事者のいない自宅で病状が急変したら...。大丈夫! 急変時にも安心して療養生活を送れるよう、医師や看護師、薬剤師などが連携し、チームを組んで在宅での療養に適したサポート体制を整えています。かかりつけ薬剤師も、薬に関するサポーターとして、その役割を担います。

相談できて安心ね♡

かかりつけ薬剤師

vol.3

活用しよう!!

かかりつけ薬剤師

公益社団法人 日本薬剤師会 〒160-8389 東京都新宿区四谷3-3-1 四谷安田ビル7F <http://www.nichiyaku.or.jp>